



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第4号
【発行日】平成29年5月12日
【連絡先】022-296-8104
【文責】教諭(研究主任)
畠山 大輔

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

「中学2年生 北上川フィールドワーク講演会」

去る4月20日(木)、本校7階大ホールにおいて、東北大学の伊藤絹子先生をお招きして「北上川フィールドワーク講演会」が行われました。汽水域の生態系を中心としたお話は、初めて聞く内容が多く、生徒たちは眼を輝かせて絹子先生の話に耳を傾けていました。

また、講演後の質疑応答では、「震災後に最初に戻ってきた生物は何ですか？」などの質問に、一つ一つ丁寧にお答えいただき、生徒たちはさらに理解を深めることができました。以下に、感想の一部を紹介します。

・生態系は協力関係、協同社会であることを学び、それぞれの生物が役割を果たし、自然に貢献しているということに気がついた。人間も本来、自然の一部なのだから、自然と共存していく道を選択していかなければならないと思った。

・今回、気になったところは、磯シジミの水管です。食べられても再生する水管は、24時間以内に原始的なものは回復し、3週間後には元の姿に戻っているとのことでした。このことから、水管の再生回数には限度があるのか、またこのような機能を持つ生物は他にいるのかを調べてみたいと思いました。

・知らないことを知る喜びを久しぶりに感じました。生態系や自然界のメカニズムについて、詳しくピンポイントで教えていただいて新鮮でした。理科への苦手意識が少し減りましたし、「楽しい」があって良かったです。

・北上川フィールドワークでは、ただ水中の生物や植物を観察するだけではなく、その生物・植物同士がどのように関わっているのか、水にどのような影響を及ぼしているのかに重点を置いて見てきたいと思いました。



〈衣替えについて〉

昨今の気象変動による激しい寒暖の差への対応や、生徒の自己管理能力を育みたいという主旨のもと、当分の間、衣替えの移行期間を設けることにしました。夏服期間については、毎年6月1日を基準日とし、前2週間、冬服期間については、毎年10月1日を基準日とし、後2週間を移行期間とします。

「防災避難訓練」

去る4月25日（火）、宮城県沖を震源とする地震を想定した防災避難訓練が、中高合同で行われました。全員が私語を慎み、真剣に訓練に臨んでおり、とても立派でした。



2011年の東日本大震災では、地震や津波によって多くの命が失われました。私たちはこの大震災を決して忘れず、家族や地域の人たちとともに災害への備えをしていく必要があります。改めて、災害について考える良い機会となりました。

「春季体育大会」

天候が危ぶまれた4月27日（木）でしたが、本校グラウンドにおいて春季体育大会が開催されました。心配された天気も何とか持ちこたえ、無事全競技を終えることができました。

体育大会では、各学年クラス対抗種目（障害物リレー、大縄跳び、クラス対抗リレー）の得点の合計によって順位を決定し、優勝クラスにはトロフィーの代わりに「こけし」が授与されます。今年も各クラスが一丸となり、「こけし」獲得を目指して熱戦が繰り広げられました。

特に、高校3年生の大縄飛びやクラス対抗リレーは圧巻の一言でした。その迫力と団結力は、中学生にとっては憧れであり、目指すべき目標となっています。

また、クラス対抗以外にも、部活動対抗リレーや、生徒対教員チームの綱引きなどもあり、クラスの枠を越えて応援する姿も見られました。応援に来てくださった保護者のみなさまにも感謝申し上げます。

優勝クラス

1学年 A組
2学年 B組
3学年 B組

